

RUMOI☆ナースウェーブ

VOL.67

2023. 2月発行



発刊元

公益社団法人
北海道看護協会留萌支部
【働き続けられる職場づくり推進委員会】
四戸 清水 高山 妻野
代表 留萌市立病院 0164-49-1011
kango@rumoi-hp.jp

2022年度はwithコロナで感染に注意し、zoomと参加型の支部活動を行う事が出来ました。

9月に北海道科学大学 保健医療看護学科 石川幸司先生に「フィジカルアセスメント研修会～基礎を学びケアに活かそう～」についてzoomにてご講義いただきました。フィジカルアセスメントは目的を達成させる1つの手段であり、この重要性を学ぶことができました。身体のなかのサインをキャッチし適切な治療、看護を導くこと。

また患者や施設利用者を的確に理解し、適切な看護援助を実施するための重要な看護技術である事を理解する研修となった。

三職能・働き続けられる職場づくり 推進委員会合同研修会

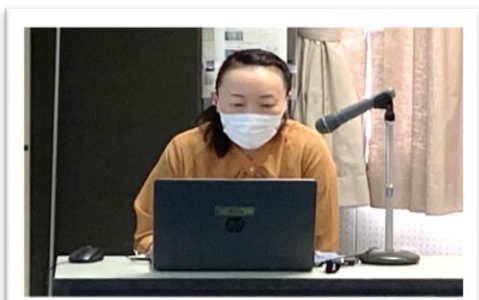
令和4年10月29日（土）、三職能・働き続けられる職場づくり推進委員会合同研修会が行われました。

研修は「新型コロナウイルス対策 第2弾 ～あなたの知識をアップデートしませんか～」と題し、留萌市立病院の感染管理者三住主任看護師を招き、講義と実技研修を行っていただきました。

講義では、冬に向けたコロナ感染第8波とインフルエンザの同時流行の可能性を踏まえ、改めての感染対策や最新の情報、ワクチン接種の必要性についてなどご説明いただき、今冬に向けた備えについて考えを新たにできました。

また実技では、蛍光塗料を用いた手洗いの手技を振り返り、気を付けていても爪先や手首が洗い残しやすいことを改めて実感する機会となりました。

本研修を通じ、地域に居る自分たちが受けたい医療とは何か、また看護職が協力連携して地域の健康を支えていくことを考える機会になったと思います。



おわりに

2022度も看護の日や、ふれあい看護体験の中止となり、ふれあわない看護体験など模索し終わってしまいました。2023年度はコロナがどうなっていくのか、まだわかりませんが「ふれあい看護体験」の再開、「ふれあわない看護体験」を検討し高校生などに看護師しを目指して頂けるような活動を進めて行きたいと思っています。ありがとうございました。今後は、コロナ禍でも感染に注意しながら、様々な方に看護の世界を知っていただく機会を再考し、次年度以降ふれあい看護体験支部内の連携も合わせて活動していきたいと思っています。

これからもご覧頂ければ幸いです。